

# 目次

■ 安全上のご注意 必ずお守りください .....	7
— ダイビングに関する一般的な注意事項 — .....	10
— この時計のご使用に関する注意事項 — .....	11
■ はじめに .....	15
■ 光を当てて充電してからご使用ください .....	16
■ 商品の特徴 .....	17
■ 各部の名称 .....	20
【デジタル画面について】 .....	21
■ 充電量表示と持続時間について .....	22
1. 充電量表示の見方 .....	22
2. 充電時間の目安 .....	24
3. 時計の持続時間について .....	25
■ ソーラーパワーウオッチ特有の機能について .....	26
【充電警告機能】 .....	28
【過充電防止機能】 .....	28
【パワーセーブ1機能】 .....	29
【パワーセーブ2機能】 .....	30

■ 時計の表示モード(機能).....	31	A. トラベルタイムの合わせ方.....	42
【標準モード】.....	31	B. トラベルタイムと時刻カレンダーモードの都市の入れ替え .....	44
1. 時刻カレンダーモード .....	31	4. アラームモードの使い方 .....	46
2. サーフェースモード .....	31	A. アラームのセット方法 .....	46
3. トラベルタイムモード .....	31	■ この時計が表示する都市名について .....	49
4. アラーム1、2および3モード .....	31	■ ダイビングでのご使用における注意事項 .....	51
5. 潜水警告設定モード .....	31	ダイビングでのご使用にあたって .....	51
6. 潜水ログ呼び出しモード .....	31	ダイビングでの使用禁止事項 .....	54
7. 基準位置確認モード .....	31	ダイビングの前に次のことを確認してください .....	55
【潜水モード】.....	32	ダイビング中は次の事を必ず守ってください .....	56
1. 潜水準備1状態 .....	32	ダイビング後は次の事を守ってください .....	57
2. 潜水準備2状態 .....	32	■ ダイビングに関する主な用語について .....	58
3. 水深計測状態 .....	33	1. 潜水について .....	58
4. 潜水後1m以内の浅い所に戻った時 .....	33	2. 水深計測について .....	60
■ モードの切り替え方 .....	34	3. 潜水時間計測について .....	60
■ 標準モードの使い方 .....	37	4. 水温計測について .....	61
1. 時刻カレンダーモードの使い方 .....	37	5. ログデータの記録について .....	62
A. 時刻／カレンダーの合わせ方 .....	37	6. 潜水モードの終了 .....	62
2. サーフェースモードの使い方 .....	40	■ 各種警告機能について .....	63
3. トラベルタイムモードの使い方 .....	42	1. 主な警告の種類と警告機能が作動する場面 .....	64

2. 各警告機能の説明 .....	65
<デジタル表示不良> .....	65
「潜水中にデジタル表示不良」が発生した場合は.....	66
<水感知センサー エラー> .....	67
<圧力センサー 不良> .....	67
「潜水中に圧力センサー 不良」が発生した場合は.....	67
【異常測定値（0m／検出値）】 .....	68
【異常測定値の解除】 .....	68
<潜水ログメモリー エラー> .....	69
<充電警告> .....	69
「潜水中に充電不足表示になった場合は」.....	69
「潜水中に充電警告表示になった場合は」.....	70
<異常深度測定値> .....	71
<深度測定範囲外警告> .....	71
【深度計測範囲外警告の解除】 .....	71
<浮上速度警告> .....	72
【浮上速度警告の解除】 .....	72
<潜水深度警告> .....	72
【異常深度警告の解除】 .....	72
<潜水時間警告> .....	73

■ 潜水モードの使い方 .....	74
1. 潜水警告設定モードの使い方 .....	74
A. 潜水警告設定モードの通常表示状態 .....	75
B. 潜水警告のセット方法 .....	76
2. 潜水モードへの切り替え .....	78
【潜水モードに切り替わると】 .....	78
【潜水の状態で次のように表示が切り替わります】 .....	80
■ 潜水ログ呼び出しモードの使い方 .....	83
A. ログデータの表示範囲 .....	84
B. ログデータの呼び出し方 .....	85
C. ログ番号について .....	86
D. ログデータの消去方法 .....	86
E. ログデータに関して .....	87
■ 基準位置確認モード .....	88
A. 基準位置確認方法 .....	88
■ このような場合には .....	92
■ 主なモードマークとデジタル表示の見方 .....	96
【モードマーク】 .....	96
【デジタル表示】 .....	98

■ オールリセットについて	102
【操作方法】	102
■ ELライトの点灯方法	104
■ お取り扱いに当たってのご注意	105
防水性能について	105
二次電池の取り扱いについて	106
指定の二次電池以外は使用しないでください	107
この時計の修理について	107
時計は常に清潔に	107
〈時計のお手入れ方法〉	108
携帯時の注意	108
バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)	108
〈温度について〉	108
〈静電気について〉	109
〈ショックについて〉	109
〈化学薬品・ガス・水銀について〉	109
〈保管について〉	109
■ 保証とアフターサービスについて	110
■ 製品仕様	112

## || 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **危険** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「軽傷または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

### 危険

この取扱説明書をよくお読みいただき、取り扱いや操作方法、また、表示、制限等を十分にご理解いただき正しくお使いください。  
誤った使い方、表示する警告や注意の指示を怠ると、死亡事故または重症事故につながる可能性があります。

### 注意

ダイビングは危険を伴うスポーツです。ダイビングでのご使用にあたっては、本書で述べる時計の取り扱いを正しく理解し、それを厳守してください。  
万一この取扱説明書に記載していない取り扱いをした場合には、時計が正しく機能しない場合があります。

## この時計の修理について

この時計のバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。  
修理、点検の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

## — ダイビングに関する一般的な注意事項 —

### ⚠ 警告

- この時計をダイビングに使用する場合は、必ず資格を持ったインストラクターからダイビングの正しい訓練を受け、安全な潜水に必要な経験と技術を習得してください。
- この時計の取り扱いと操作を完全にマスターしてください。  
レクリエーションダイビングといえども、ダイビングには危険を伴います。不適切または不十分な訓練でダイビングを行うと、死亡事故または重症事故につながる可能性があります。

### ⚠ 警告

個々のダイバーは、自分にあった安全の為のダイビング計画、遂行を責任持って行ってください。

この時計は減圧症を防ぐ機能はありません。また、個々の使用者の生理的な機能の違いや、その日の体調の差異をチェックすることはできません。

減圧症の発症には体調が大きく関与しているため、その日の体調によって減圧症となる危険の度合いは異なります。病気、疲労、睡眠不足、二日酔いなど体調の悪い場合にはダイビングを避けることをお勧めします。

## — この時計のご使用に関する注意事項 —

### ⚠ 危険

- この時計にはダイビングコンピュータ機能はありません。
- この時計には減圧潜水を表示する機能はありません。この時計を使用して減圧潜水は行わないでください。
- この時計はナイトロックス潜水に対応していません。この時計を使用してナイトロックス潜水は行わないでください。

### ⚠ 危険

水面休息中(サーフェースモード作動中)は絶対にこの時計を他人に貸したり、共用しないでください。また、時計が表示するデータを使用者以外のダイバーのデータとして使用しないでください。

この時計は、個人で使用することを前提に設計されています。  
サーフェースモード作動中は、それまでの潜水におけるデータが継続していますので、他の人が使用すると使用者に適したデータの計算が行われず、死亡事故または重症事故につながる可能性があります。

## ⚠ 危険

サーフェースモードが作動中は、飛行機への搭乗は避けてください。

潜水後十分な休息を行わずに飛行機への搭乗を行うと、減圧症になる危険があります。  
できるだけダイビング終了から24時間以内の飛行機搭乗を避けることをおすすめします。  
潜水後の飛行機搭乗による減圧症を完全に防ぐ方法はありません。

## ⚠ 警告

この時計をダイビングに使用する場合は、他のダイビング機器(ダイブテーブル、ダイバーズウォッチ、残圧計、水深計など)を必ず併用してください。

大気の急激な変動や水中の温度変化などが時計の表示や性能に影響を及ぼすことがあります。また、この時計が万一故障した場合に備えて、必ず他のダイビング機器を併用してください。

## ⚠ 警告

万一の時計の故障や、誤った設定での使用による事故を防止する為に、毎回のダイビングの前に必ず時計の全ての機能の点検を行ってください。

特に充電量が充分にあるか、画面に警告表示が出ていないかを必ず確認してください。

## ⚠ 警告

この時計を使用してのダイビングは、水温0°C～+40°Cでのレクリエーションダイビング(無減圧潜水)に限られます。

次のダイビングには使用しないでください。

- ・上記温度範囲以外でのダイビング
- ・減圧潜水
- ・ヘリウムガスを使用する飽和潜水
- ・海拔3,000m以上の高所潜水
- ・海水(比重が1.025)以外の潜水

## ⚠ 警告

安全の為、無減圧潜水限界(深度・時間)に対して余裕を持ったダイビングを行ってください。

## ⚠ 警告

無減圧潜水限界に近づいた場合は、ダイブテーブルに従い浮上速度9m／分以内の浮上速度を守って速やかに浮上を開始してください。

## ⚠ 警告

健康に重大な影響を及ぼす可能性がありますので、スキューバダイビング後のスキンダイビングは行なわないでください。

この時計には、スキューバダイビングとスキンダイビングを区別する機能は組み込まれていません。

## ⚠ 注意 ログデータの保管についてのお願い

大切なログデータは必ず別に記録しておいてください。

下記のような場合にはログデータが消失する事があります。

- ①誤った時計の操作
- ②使用環境(静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき)
- ③故障や修理の際等

## || はじめに

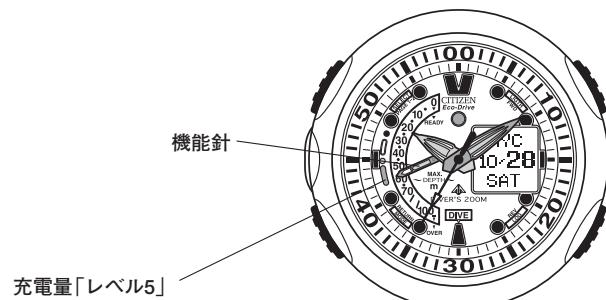
このたびは、「Citizen Eco-Drive」をお買い上げいただきありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申しあげます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

1. この時計は、水深計を内蔵したコンビネーションダイバーズウォッチです。
  - ①水を感知すると自動的に潜水モードに切り替わる水感知センサー付きです。
  - ②ダイビング中は
    - ・現在の深度、現在時間、現在の水温、潜水時間、最大深度をデジタル画面に表示します。
    - ・潜水経過時間を分針で表示します。
    - ・最大深度を機能針が表示します。
  - ③ダイビング後
    - ・ダイビングで記録されたログデータ(ログ番号、潜水月日、最大深度、最低水温、潜水時間等)が呼び出せます。
2. 光発電(エコドライブ)機能を搭載したソーラーパワーウォッチです。

## 光を当てて充電してからご使用ください

ご使用前に太陽光などの光を当てて、機能針がレベル5になるまで十分に充電を行ってください。

- ・充電量表示と持続時間についての「2. 充電時間の目安」を参照し、ソーラーセル（文字板面）に光を当てて充電してください。
- ・蛍光灯や白熱灯などで充電する際は、光源に時計を近付け過ぎて時計が高温にならないよう注意してください。



## 商品の特徴

ダイビングに便利な各種機能を搭載しています。

1. 腕につけて水中に潜るだけで、自動的に計測を開始し、深度、水温、潜水時間、最大深度などをデジタル画面に表示します。
2. 安全にダイビングを行うために各種警告機能を搭載しています。
  - ①設定した深度を超えた場合は深度警告を、設定した潜水時間を超えた場合は潜水時間警告をアラーム音とLEDの点滅でお知らせします。
  - ②急激な浮上を行なった場合は、デジタル画面に浮上警告「SLOW」を表示します。
3. ダイビングのログデータを最大20件自動的に記憶します。

エコドライブの便利な機能を搭載しています。

1. 文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるソーラーパワーウオッチです。
2. 一度フル充電すると、約6ヶ月動き続けます。
  - ・持続時間はアラームやELライト、ダイビング等の使用頻度によって変わります。
3. 時計の電源には水銀などの有害物質を一切使用していない環境にやさしい二次電池を使用しています。

4. さらに下記のような機能を装備しています。

**充電量表示機能**：二次電池の充電量の目安を機能針で6段階に分けて表示します。

**充電警告機能**：秒針が2秒毎に運針し、デジタル表示部に「 Charge : 充電不足マーク」が表示され充電不足をお知らせする機能です。

**パワーセーブ1**：秒針が12時位置で停止する節電機能です。

**パワーセーブ2**：時針、分針、秒針が12時位置で停止する節電機能です。

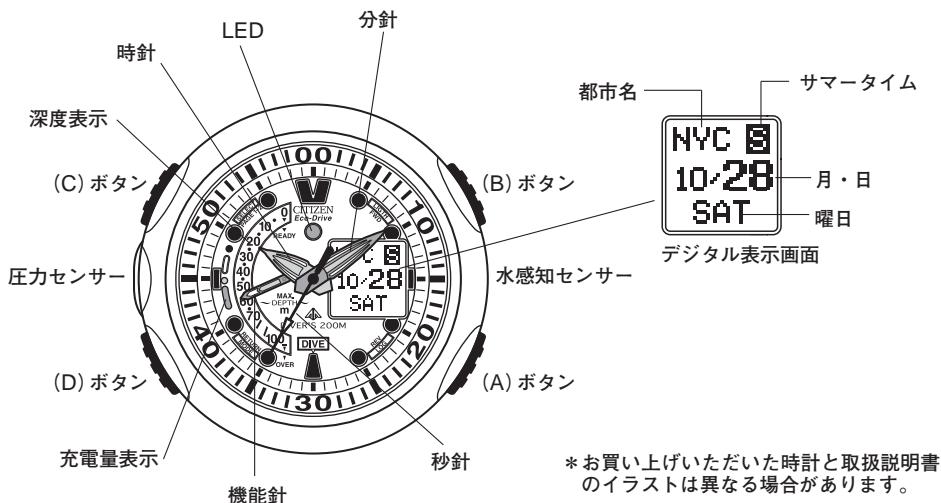
・デジタルは表示が消え、白くなります。

**過充電防止機能**：二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように働く機能です。

#### その他の便利な機能

- 1. トラベルタイム機能**：海外への旅行や出張時に簡単に現地時刻を表示できます。  
また、各都市毎にサマータイムの設定ができる機能です。
- 2. アラーム機能**：3つのアラーム（アラーム音が異なります）が設定できます。
- 3. E L ライト**：暗い所でも表示が確認できるE L ライトが付いています。
- 4. デジタル表示画面**：見やすく視野角の広いドットマトリックスを採用しています。

## 各部の名称



## 【デジタル画面について】

- デジタル画面に、メモリー性液晶によるドットマトリックス表示を採用しています。
- このメモリー性液晶は、モード表示中や修正状態の時に自動的にデジタル表示画面を上から下へと書き換えを行ないます。書き換えによって表示内容がちらついて見える事がありますが、故障ではありません。なお、表示書き換えのタイミングは、モードや修正状態等によって異なります。



## 充電量表示と持続時間について

二次電池にどの位充電されているか、充電量(目安値)を機能針で確認できます。  
充電量表示は6段階に分かれています。機能針が指している所が現在の充電量です。  
常に「レベル5」になるまで充電してからご使用ください。

### 1. 充電量表示の見方

二次電池の充電量は、ご使用状態や時間の経過とともに、また充電の仕方によって変化します。

#### 二次電池の充電量

レベル	充電量表示	持続時間 (目安値)	充電レベルでの主な働き
レベル0		約2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電不足です。ダイビングに使用できません。 すぐに充電を行ってください。</li> <li>「Charge」が表示され、秒針が2秒毎に運針します。</li> <li>深度計測中に「レベル0」になると、計測を中止します。(ログデータは記録されません)</li> <li>トラブルタイムやアラーム等へのモード切り替えができません。</li> <li>ELライトは点灯しません。</li> </ul>

レベル1		約4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電不足で水感知センサーが作動せず、ダイビングに使用できません。早めに充電を行ってください。</li> <li>時計の標準モードは使用できます。</li> <li>深度計測中に「レベル1」になると、デジタル表示部に二次電池の容量不足マークが表示されます。</li> <li>ELライトは点灯しません。</li> </ul>
レベル2		約7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次電池に残っている充電量が少なくなっています。</li> <li>潜水は約1時間程できます。</li> <li>ELライトは点灯しません。</li> </ul>
レベル3		約2ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての機能が働きます。</li> </ul>
レベル4		約4ヶ月	
レベル5		約6ヶ月	

\*上図は二次電池に残っている充電量(目安値)と充電量表示の変化をイメージしたものです。  
モデルによっては、デザインが異なるものがあります。

## 2. 充電時間の目安

時計のモデル(文字板色など)によって充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用ください。

照度 (ルックス)	環境	充電時間		
		1日動かすために 必要な充電時間	止まった状態から 時計が動き出すま での充電時間	止まった状態から フル充電までの充 電時間
500	一般オフィス内	約3.5時間	約30時間	----
1,000	蛍光灯(30W)の下60~70cm	約2時間	約15時間	----
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	約35分	約6時間	約150時間
10,000	曇天	約10分	約2時間	約45時間
100,000	夏の日の直射日光	約2分	約45分	約9.5時間

・常に余裕を持って充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません(過充電防止機能付き)。毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

## 3. 時計の持続時間について

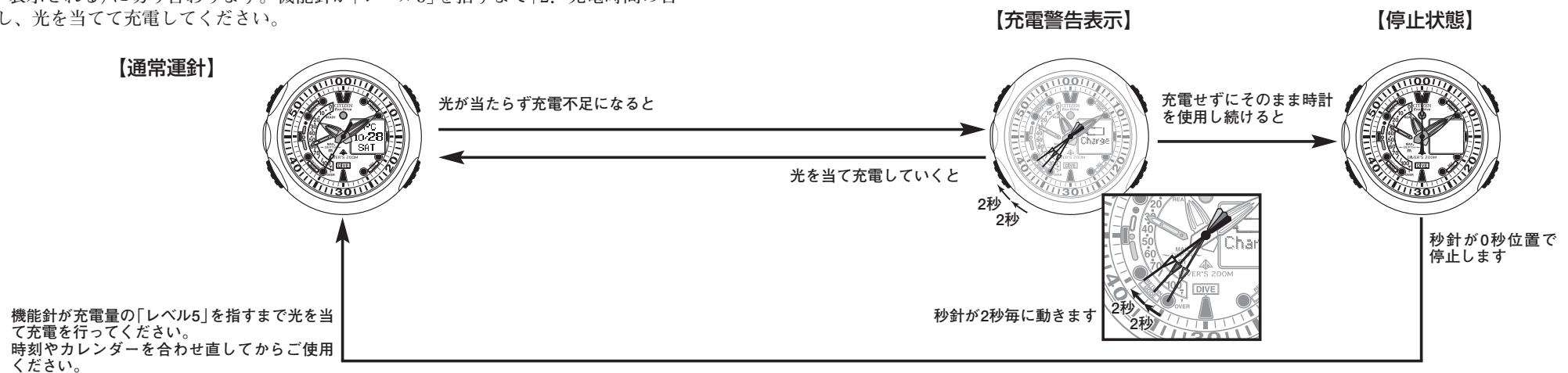
フル充電された状態で、約6ヶ月作動します。

### 【注意】

- ・時計の持続時間は、ダイビングやアラーム、ELライトなどの各種機能の使用頻度が多いと短くなります。
- ・ダイビング以外で時計を濡らすと水感知センサーが働きますので、その分持続時間が短くなります。

## ソーラーパワーオッヂ特有の機能について

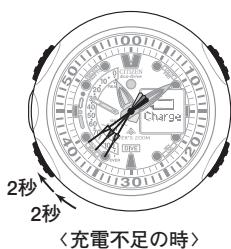
充電不足になると、通常運針から充電警告表示（秒針が2秒毎に運針し、デジタル表示部に「Charge」が表示される）に切り替わります。機能針が「レベル5」を指すまで「2. 充電時間の目安」を参照し、光を当てて充電してください。



## 【充電警告機能】

充電不足になると秒針が1秒運針から2秒毎の運針に切り替わります。デジタル表示部には、電池のマークとChargeを表示します。

充電不足のままお使い続け、約2日経過すると時計が止まります。早めに光を当てて「レベル5」になるまで充電をしてください。



〈充電不足になると次のように機能が制限されます。〉

- ・水感知センサーが作動せず、ダイビングに使用できません。
- ・ボタンを押しても、モード切り替えや、修正、設定等ができません。
- ・アラームが鳴りません。
- ・ELライトが点灯しません。

## 【過充電防止機能】

文字板(ソーラーセル)に光が当たり、二次電池がフル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。

どんなに充電しても二次電池や、時計精度、機能、性能等に影響を及ぼす事はありません。

## 【パワーセーブ1機能】

標準モードで、ソーラーセルに2時間続けて光が当たらず発電が行われないと、秒針が0秒位置で停止し、自動的に消費電力をおさえるパワーセーブ状態になります。

〈針やデジタル表示は次のようにになります。〉



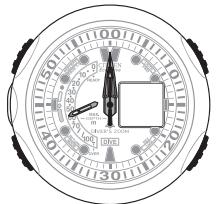
〈秒針が0秒位置で停止します〉

### 解除方法

- ・ソーラーセルに光を当て、発電を開始するか、ボタンを押してスイッチ入力すると解除されます。
- ・水感知センサーが水を感じ、潜水モードに切り替わった時も解除されます。

パワーセーブ1が解除されると、秒針が現在時刻(秒)まで早送りされ、1秒運針を始めます。

## 【パワーセーブ2機能】



〈秒針に続いて、時、分針が12時00分位置で停止します〉

### 解除方法

- ・ソーラーセルに光を当て、発電を開始すると解除されます。
- ボタンを押しても解除できません。また、水感知センサーが水を感じても解除しません。
- パワーセーブ2が解除されると、各針が現在時刻まで早送りされ時刻を刻み始めます。
- デジタル表示は、都市名とカレンダーの表示に戻ります。

パワーセーブ1状態が7日間続くと、さらに消費電力をおさえるパワーセーブ2状態に切り替わり時針と分針が12時00分位置で停止します。

〈針やデジタル表示は次のようになります。〉

- ・秒針：0秒位置で停止。
- ・時、分針：12時00分位置で停止。
- ・機能針：パワーセーブ2に入った時の充電量を表示。
- ・デジタル表示部：全ての表示が消えます。

## || 時計の表示モード(機能)

### 【標準モード】

通常使用するモードです。標準モードの中には、次のようなモードがあります。

#### 1. 時刻カレンダーモード

- ・針が時刻を表示し、デジタル表示部に都市名とカレンダーを表示します。

#### 2. サーフェースモード

- ・最新のダイビング終了時からの経過時間を表示します。(最大24時間)
- ・24時間計測後は表示されません。

#### 3. トラベルタイムモード

- ・時刻カレンダーモードとは別の都市の時刻および、カレンダーを表示します。

#### 4. アラーム1、2および3モード

- ・各アラームのセット時刻と都市名を表示します。

#### 5. 潜水警告設定モード

- ・警告深度や警告潜水時間の設定ができます。

#### 6. 潜水ログ呼び出しモード

- ・潜水モードで自動的に記録されたログデータを確認するモードです。

#### 7. 基準位置確認モード

- ・この時計の針の基準となる位置を表示します。

## 【潜水モード】

ダイビング時に使用するモードです。

水感知センサーが水を感知すると、自動的に潜水準備「READY表示」に切り替わります。潜水の状態によって次のように切り替わります。但し、充電不足の時は、潜水モードに切り替わりません。

### 1. 潜水準備1状態

- ・デジタル表示部で「READY」と「ready」を交互に表示します。
- ・各針は潜水準備1に入る前のモードを継続して表示します。

例：時刻カレンダー表示の時は、現在の時刻を表示します。

また、水感知センサーがオフになり、潜水準備1が解除されると、潜水準備1に入る前のモードに戻ります。

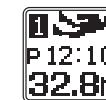
### 2. 潜水準備2状態

- ・潜水準備1状態で、深度50cm以深が続くと、潜水準備2状態に替わります。
- ・デジタル表示部：「現在時間」と「READY」を交互に表示します。
- ・時針と分針：12時00分に移動し停止します。
- ・秒針：現在時刻(秒)を表示します。
- ・機能針：深度目盛りの0位置に移動し停止します。

### 3. 水深計測状態

- ・デジタル表示部で現在の時刻や、深度、水温、潜水時間等を表示します。
  - ・時針：6時で停止し、水深計測中であることをお知らせします。
  - ・分針：潜水経過時間(分)を表示します。(60分計測後も継続して経過時間を表示します。)
  - ・秒針：現在時刻(秒)を表示します。
  - ・機能針は：最大深度を表示します。
- 分針の位置が15分から30分の間は、「現在の深度値」または、「最大深度値」を表示する位置が自動的に切り替わります。

〈分針が15分から30分以外を指している時〉



現在の深度

〈分針が15分から30分を指している時〉



現在の深度

〈1m以内の浅い所に戻った時〉



現在の深度

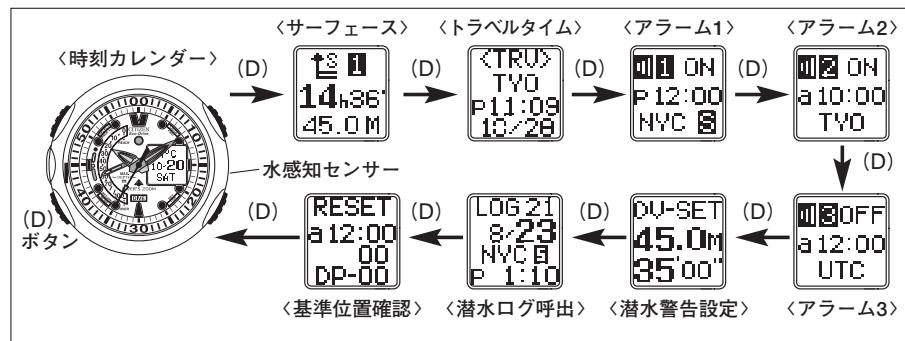
### 4. 潜水後1m以内の浅い所に戻った時

- ・水深計測状態を継続します。(深度表示は0mです。)
- ・潜水後、0m表示が10分以上続いた時または、0m表示中に(D)ボタンを押し続けると、サーフェースモードに切り替わります。

## モードの切り替え方

- (D) ボタンを押す毎に「時刻カレンダー」→「サーフェース」→「トラベルタイム」→「アラーム1」→「アラーム2」→「アラーム3」→「潜水警告設定」→「潜水ログ呼出」→「基準位置確認」の順でモードが切り替わります。
- 水感知センサーが水を感知すると、自動的に潜水モード「潜水準備1」に切り替わります。

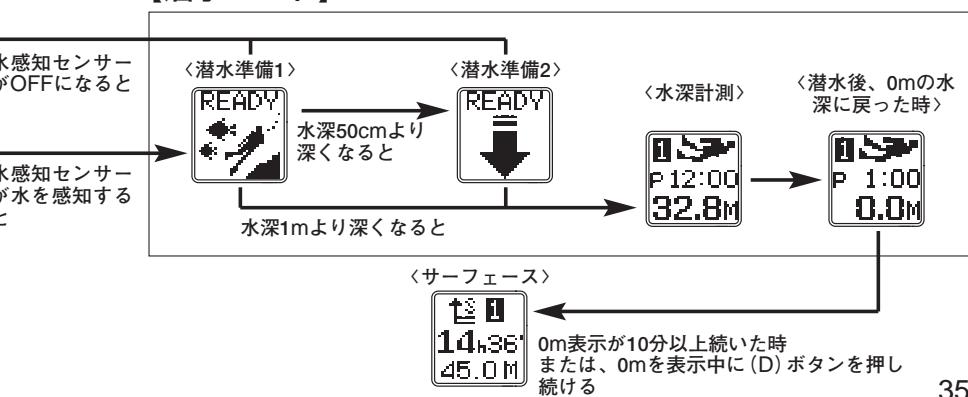
### 【標準モード】



### 【ボタン操作について】

- モード切り替えや、修正中に針が移動中は、ボタンを押しても切り替わりません。針が所定の位置に停止してから、ボタン操作を行ってください。

### 【潜水モード】



### 【注意】

- ・サーフェースモードは、24時間計測後は表示しません。
- ・時刻カレンダーモード以外で約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に各モードから時刻カレンダーモードへ戻ります。
- ・基準位置確認モードは10分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻カレンダーモードへ戻ります。
- ・デジタル画面に「Charge :充電不足」や「図：エラーマーク」等が点灯し警告機能が作動中は、水感知センサーが濡れても潜水モードに切り替わりません。

モード切り替えを行なう時は、水感知センサーに触れないでください。

水感知センサーに指等が触れると、潜水モードに入りモード切り替えができません。  
潜水モードに入った場合は、時刻カレンダーモードに戻る迄お待ちください。

## 標準モードの使い方

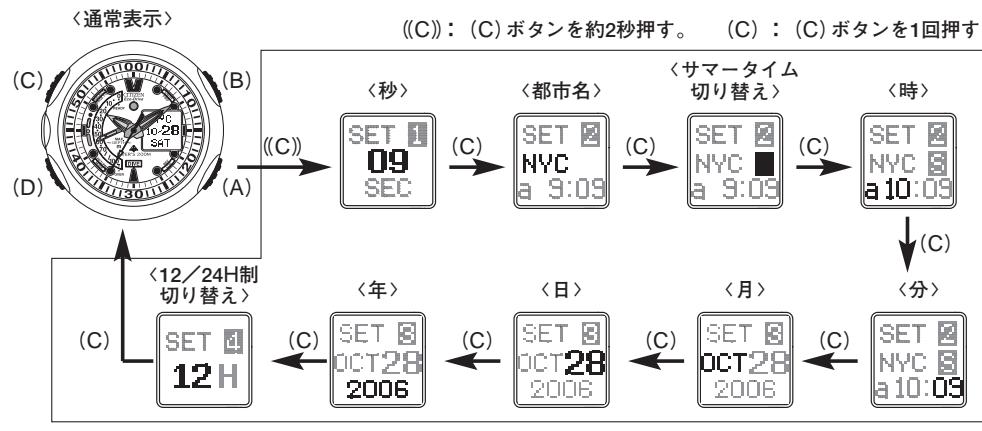
### 1. 時刻カレンダーモードの使い方

針で時刻を表示し、デジタルでカレンダーを表示するモードです。  
機能針が二次電池の充電量を表示します。

#### A. 時刻／カレンダーの合わせ方

- ・アナログは単独で修正できません。デジタルを修正すると自動的にアナログ時刻が修正されます。
- (1) 時刻カレンダーモードで、(C)ボタンを約2秒押すと、修正状態になります。
- ・デジタル表示：「秒」表示に変わり点滅します。
  - ・時針、分針、秒針：12時に移動し停止します。
  - ・秒針が12時位置に停止しない場合は、(B)ボタンを押して12時に合わせてください。(B)ボタンを押すと、秒針が1秒動きます。ボタンを押し続けると早送りできます。

(2) (C) ボタンを押す毎に、点滅箇所が次のように切り替わります。



(3) (B) ボタンまたは(A) ボタンを押して点滅箇所を修正します。

- ・(B) ボタンを1回押す毎に表示を1つ送ります。
- ・(A) ボタンを1回押す毎に表示を1つ戻します。
- ・ボタンは押し続けると表示が早送りできます。

38

(4) 修正状態で(D) ボタンを押すと直接通常表示に戻ります。

- ・「デジタルの秒」修正は(A) ボタンを押すと「0秒」に戻ります。(B) ボタンを押すと、秒針が動きます。「デジタルの秒」を修正する時は、必ず(A) ボタンで修正してください。
- ・「都市名」については「この時計が表示する都市について」をご参照ください。
- ・「サマータイム」切り替え及び、「12H／24H制」切り替えは、(A) または(B) ボタンを押す毎に表示が切り替わります。
- ・サマータイムを設定すると、現在時刻より1時間進み、画面に「S」が表示されます。
- ・UTC(協定世界時)はサマータイムの設定ができません。
- ・「月」は修正時は、アルファベット3文字(JAN,FEB, ··· DEC)で表示し、通常表示に戻すと数字(1, 2, ··· 12)で表示されます。
- ・「年」は2000年から2099年まで設定できます。
- ・「曜」は、年・月・日の修正により自動的に修正されます。
- ・「12H制表示」の場合は、午前(a)／午後(p)に注意して合わせてください。
- ・修正状態(点滅表示)で約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に通常表示に戻ります。

39

## 2. サーフェースモードの使い方

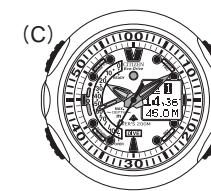
サーフェースモードは、最新のダイビング終了時からの経過時間(水面休憩時間)を表示します。計測時間は24時間まで、計測終了後は表示されません。

### ⚠ 警告

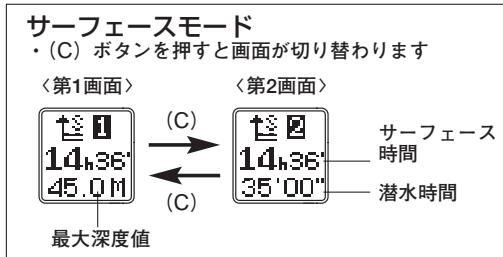
- ・サーフェースモードが作動中は、飛行機への搭乗は避けてください。  
潜水後十分な休息を行わずに飛行機への搭乗を行うと減圧症になる危険があります。潜水後の飛行機搭乗による減圧症を完全に防ぐ方法はありません。
- ・サーフェース作動中は、ログデータの消去はしないでください。

### 【サーフェースモード】

- ・デジタル表示：第1画面・・・サーフェース時間と最大深度値を表示します。  
第2画面・・・サーフェース時間と潜水時間を表示します。
- ・時針、分針、秒針：時刻カレンダーモードの時間を表示します。
- ・機能針：充電量を表示します。



(C)



### 【サーフェースモード作動中は、時刻カレンダーモードでサーフェースマークが表示します】

〈時刻カレンダー表示〉



サーフェース

### 【注意】

- ・サーフェースモード表示中に、計測時間が24時間00分になると、サーフェースモードが終了し時刻カレンダーモードが表示します。それ以後、サーフェースモードは表示しません。

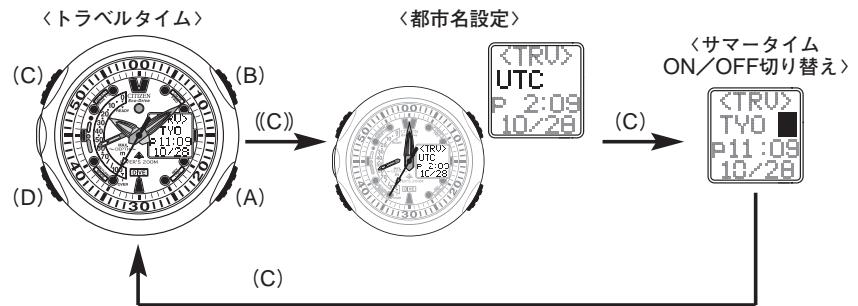
### 3. トラベルタイムモードの使い方

この時計に登録されているUTCと42都市の中から、都市名を選択し時刻、カレンダー等を表示します。

- ・デジタル部：選択した都市の都市名と時刻、カレンダーを表示します。
- ・時針、分針、秒針：ホームタイムの時刻を表示します。
- ・機能針：充電量を表示します。

#### A. トラベルタイムの合わせ方

- (1) トラベルタイムモードで、(C) ボタンを約2秒押すと、都市名が点滅します。
  - ・時針と分針が12時に移動し、停止します。
- (2) (A) または(B) ボタンを押して、都市名を切り替えます。
  - ・(B) ボタンを押すと時差が(+)する方向で都市名を呼び出します。
  - ・(A) ボタンを押すと時差が(-)する方向で都市名を呼び出します。
  - ・ボタンを押し続けると、都市名を早修正できます。
  - ・表示する都市については「この時計が表示する都市について」をご参照ください。
- (3) (C) ボタンを押すとサマータイム修正状態になります。
  - ・「S」(サマータイム設定)または「■」(サマータイム解除)が点滅します。
- (4) (A) または(B) ボタンを押して修正します。
  - ・ボタンを押す毎に「S」と「■」が交互に替わります。
- (5) 修正状態で(D) ボタンを押すと直接トラベルタイム通常表示に戻ります。



- ・12H/24H制は時刻カレンダーモードの設定に従います。
- ・トラベルタイムモードで、サマータイムを切り替えた場合は、時刻カレンダーモードとアラームモードの同じ都市も切り替わります。
- ・サマータイムを設定すると、現在時刻より1時間進み、画面に「S」が表示されます。
- ・UTC(協定世界時)はサマータイムの設定ができません。
- ・修正状態で約1分間ボタン操作を行わないと、自動的にトラベルタイム通常表示に戻ります。
- ・トラベルタイムモードで、約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻カレンダーモードに戻ります。

## B. トラベルタイムと時刻カレンダーモードの都市の入れ替え

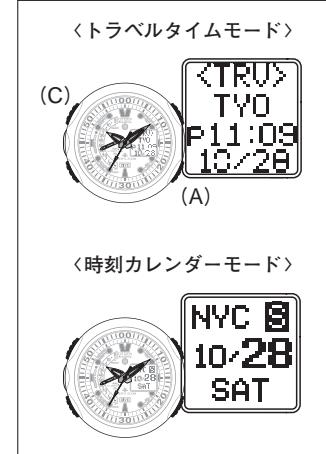
「トラベルタイム」で表示中の都市名や時刻と「時刻カレンダーモード」で表示中の都市名や時刻を簡単に入れ替えることができます。

- よく使う都市をトラベルタイムモードに設定しておき、旅行等で現地に行った際に入れ替え操作を行うと、トラベルタイムで表示していた都市の時刻とカレンダーをそのまま時刻カレンダーモードに表示させることができます。
- 時刻カレンダーモードで表示していた都市の時刻とカレンダーは、トラベルタイムモードに移ります。

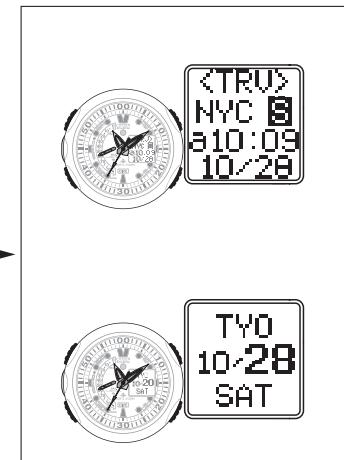
### <操作方法>

- (1) トラベルタイムモードで、(A) ボタンと(C) ボタンを同時に約2秒押します。
  - ・「トラベルタイム」の時刻と「時刻カレンダーモード」の時刻とが入れ替わります。
- 例) トラベルタイムで東京「TYO」が設定されていたとします。時刻カレンダーモードの設定はニューヨーク「NYC」とします。これを入れ替えてみましょう。
  - ①(A) ボタンと(C) ボタンを同時に約2秒押します。
    - ・時針、分針が「NYC」から「TYO」の時刻に替わります。
    - ・トラベルタイムの表示が「TYO」から「NYC」の時刻、カレンダーに替わります。
  - ②(D) ボタンを押して時刻カレンダーモードに戻すと：
    - ・時針、分針が「TYO」の時刻を表示。
    - ・デジタル表示は「NYC」から「TYO」のカレンダーに替っています。

## [入れ替える前の表示]



## [入れ替える後の表示]



## 4. アラームモードの使い方

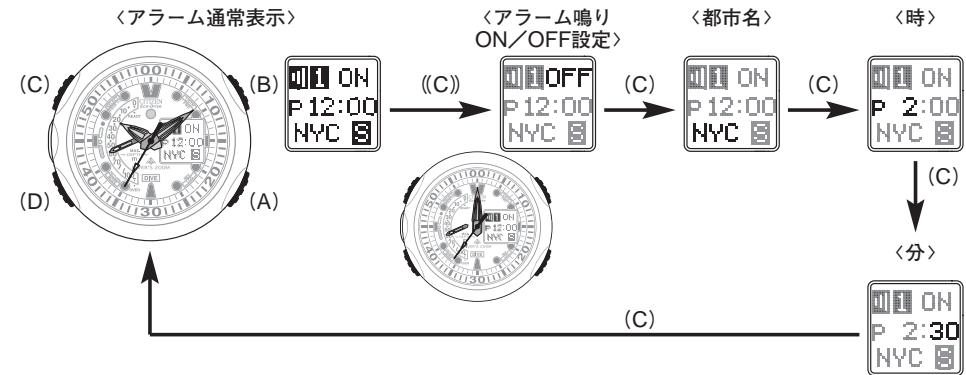
「アラーム1」、「アラーム2」、「アラーム3」の各モードは、鳴り音が異なるだけで、アラームセットや操作方法等は同じです。

- ・デジタル部：セットした都市名やアラームセット時間等を表示します。
- ・時針、分針、秒針：時刻カレンダーモードの時刻を表示します。
- ・機能針：充電量を表示します。



### A. アラームのセット方法

- (1) アラームモード通常表示で(C)ボタンを約2秒押すと、デジタル部の「ONまたはOFF」が点滅し修正状態になります。  
・時針、分針が12時に移動し停止します。
- (2) (C)ボタンを押す毎に、次のように点滅箇所が切り替わります。



- (3) (B)ボタンまたは(A)ボタンを押して点滅箇所を修正します。
  - ・(B)ボタンを押す毎に、表示を1つずつ送ります。
  - ・(A)ボタンを押す毎に、表示を1つずつ戻します。
  - ・ボタンを押し続けると早送りできます。
- (4) 修正状態で(D)ボタンを押すと直接アラーム通常表示に戻ります。
  - ・時針、分針は時刻カレンダーモードの時刻に戻ります。

- ・1度セット「ON」にすると、毎日同じ時刻にアラームが約15秒間鳴ります。
- ・時刻カレンダーモード表示中に、アラームがONに設定されている場合、アラーム設定時間になるとアラームが鳴り、鳴っている間、デジタル表示部に都市名やセット時間等を表示します。
- ・鳴っているアラーム音を止めるには、どのボタンを押しても止まります。
- ・アラーム通常表示で(A)ボタンを押すと、アラームの音をモニターできます。
- ・12H制/24H制は時刻カレンダーモードの設定に従います。
- ・各都市のサマータイムのON/OFFは、時刻カレンダーやトラベルタイムで設定したON/OFFが適用されます。
- ・修正状態(点滅表示)で約1分間ボタン操作を行わないと、自動的にアラーム通常表示に戻ります。
- ・アラーム通常表示で約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻カレンダーモードに戻ります。
- ・アラームをONに設定していても、潜水中はアラームは鳴りません。

## この時計が表示する都市名について

この時計には下記の都市名が登録されています。標準モードの時刻カレンダー、トラベルタイム、アラーム1、2および3の各モードで表示します。

・各モードの都市名修正状態で、(B)ボタンを押すと時差が(+)する方向で都市名が表示されます。(A)ボタンを押すと、時差が(-)する方向で都市名を表示します。

時計の表示	都市名	時差	時計の表示	都市名	時差
UTC	協定世界時	±0	THR	テヘラン	+3.5
LON	ロンドン	±0	DXB	ドバイ	+4
PAR	パリ	+1	KBL	カブール	+4.5
ROM	ローマ	+1	KHI	カラチ	+5
BER	ベルリン	+1	DEL	デリー	+5.5
MAD	マドリッド	+1	DAC	ダッカ	+6
CAI	カairo	+2	RGN	ヤンゴン	+6.5
JNB	ヨハネスブルグ	+2	BKK	バンコク	+7
ATH	アテネ	+2	SIN	シンガポール	+8
MOW	モスクワ	+3	HKG	香港	+8
RUH	リヤド	+3	BJS	北京	+8

↑(B)ボタンを押す  
↓(A)ボタンを押す

↑ (B)ボタンを押す  
↓ (A)ボタンを押す

時計の表示	都市名	時差	時計の表示	都市名	時差
TYO	東京	+9	YVR	バンクーバー	-8
SEL	ソウル	+9	DEN	デンバー	-7
ADL	アデレード	+9.5	CHI	シカゴ	-6
SYD	シドニー	+10	MEX	メキシコシティー	-6
NOU	ヌメア	+11	NYC	ニューヨーク	-5
AKL	オークランド	+12	YMQ	モントリオール	-5
SUV	スバ	+12	CCS	カラカス	-4
MDY	ミッドウェイ	-11	RIO	リオデジャネイロ	-3
HNL	ホノルル	-10	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	-2
ANC	アンカレッジ	-9	PDL	アグレス	-1
LAX	ロサンゼルス	-8			

## || ダイビングでのご使用における注意事項

### ⚠ 警告 ダイビングでのご使用にあたって

この時計の深度計測機能は公的機関の計測機器として許可されたものではありません。  
計測値はあくまで目安としてご使用ください。

ダイビングは危険を伴うスポーツです。この時計をダイビングで使用する際は、必ず資格を持ったインストラクターからダイビングに関する教育やトレーニングを受け、安全なダイビングに必要な経験と技術を習得した上で、ルールを守ってご使用ください。レクリエーションダイビングといえども、ダイビングは危険を伴います。不適切なまたは、不十分な訓練でダイビングを行うと、死亡事故や重症事故などにつながる可能性があります。

1. ダイビングでのご使用にあたっては、時計の取り扱いと操作を正しく理解し、それらを厳守してください。  
この取扱説明書に記載していない取り扱いをした場合には、時計が正しく機能しません。
2. ダイビングの前に、必ず時計の全ての機能が正しく作動するかを点検してください。

3. この時計を使用する場合も安全の為、他のダイビング機器(ダイブテーブル、残圧計、水深計など)を必ず併用してください。  
大気の急激な変動や水中の温度変化などが、時計の表示や性能に影響を及ぼすことがあります。この時計の潜水機能は減圧症等を防ぐものではありません。あくまでも減圧症などの危険を最小限にするための参考となる情報を表示するもので、使用者の安全を保証するものではありません。
4. この時計を使用してのダイビングは、水温0°C～+40°Cでのレクリエーションダイビング(無減圧潜水)に限られます。  
次のダイビングには使用しないでください。
  - ・上記温度範囲以外でのダイビング
  - ・減圧潜水
  - ・ヘリウムガスを使用する飽和潜水
5. 水深計測は100mまで測定できますが、レクリエーションダイビングにおける限界水深30mを超える潜水は行わないでください。  
水深18m位までのレクリエーションダイビングをおすすめします。
6. 無減圧時間に対して常に余裕を持ったダイビングを行ってください。
7. 十分な安全停止、減圧停止を行ってください。  
無減圧潜水の場合でも、安全の為に必ず5mの深度で安全停止を行うようにしてください。
8. 水面休憩中(サーフェスマード作動中)は絶対にこの時計を他人に貸したり、共用しないでください。また、時計が表示するデータを使用者以外のダイバーのデータとして使用しないでください。
9. 安全のためのルールにしたがって、ダイビング後は充分な休息をおとりください。  
ダイビング後、正しく休息時間をとらずに飛行機に搭乗したり高所に移動すると減圧症を起こす危険があります。



## 禁止 ダイビングでの使用禁止事項

次のようなときには、絶対にこの時計をダイビングに使用しないでください。

1. (エラーマーク)が表示されているとき。  
エラーマークが表示されているときは潜水モードに切り替わりません。
2. 充電不足で、「 Charge」が表示されている時。  
充電不足の場合は、ダイビングを開始しても潜水モードに切り替わりません。
3. 時計が止まったり、異常が生じたとき。
4. 保証温度範囲外及び高度3,000m以上の高地での使用。
5. 危険を伴う行動や人体に影響を及ぼす場合。
6. ヘリウムガス雰囲気中(飽和潜水など)での使用。



## 警告 ダイビングの前に次のことを確認してください

1. ダイビングの前に必ず時計の全ての機能の点検を行ってください。
  - ・機能針が充電量のレベル5を指している事。
  - ・エラーマークが出ていない事。等
2. 時計の温度と水温とに極端な差がある時は、正しく計測するために時計を水中に浸して時計を水温になじませてください。
3. バンドが時計本体にしっかりと固定されているか。
4. バンドやガラスにヒビ、傷、カケなどの異常がないか。
5. 時刻及びカレンダーが正しくセットされているか。
6. 警告水深、警告時間が正しくセットされているか。

### 警告 ダイビング中は次の事を必ず守ってください

1. 急速な浮上は避けてください。  
・急速な浮上は潜水病など人体に影響を及ぼします。安全な浮上速度を守ってください。
2. 水中では、周囲の状況や環境などによって、深度アラーム音や各種警告音が聞こえづらいことがあります。その場合は、アラーム音と合わせてLEDで確認してください。
3. 水中で時計が正しく作動しない場合には、速やかに浮上してください。  
・浮上速度9m／分以内の浮上速度を守って速やかに浮上を開始してください。
4. 安全の為、無減圧限界時間に対して余裕を持ったダイビングを行ってください。
5. 減圧潜水になった場合には、浮上速度9m／分以内の浮上速度を守って速やかに浮上を開始してください。
6. 浮上の際は、安全のため必ずダイブテーブルに従って安全停止を行うようにしてください。

### 警告 ダイビング後は次の事を守ってください

1. サーフェスマードが作動中は、飛行機への搭乗は避けてください。  
・ダイビング後は十分な休息をおとりください。  
・ダイビング終了から24時間以内の飛行機搭乗を避けることをおすすめします。
2. 時計に付着した海水や泥、砂などを真水で良く洗い落とした後、乾いた布などで水分を拭き取ってください。
3. 圧力センサー部にゴミや汚れがつまった場合は取り除いてください。  
・ゴミなどが入った場合は、真水で洗い流してください。  
・センサーカバーを外したり、先のとがったものでつづいたりしないでください。また、エアーガンなどで高い圧力の風を吹き付けないでください。  
・取り除けない場合は、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
4. 大切なログデータは必ず別に保存(記録)してください。

## ||ダイビングに関する主な用語について

### 1. 潜水について

#### <無減圧潜水と無減圧限界時間(NDL)>

無減圧潜水 (NDL = No Decompression-Limit) とは、ダイバーが潜水を終えて浮上する途中、減圧のための停止をしないで海面に浮上できる潜水を言います。この無減圧潜水が可能な限界の時間を無減圧限界時間と言います。無減圧限界時間は、前回のダイビングの潜水深度や潜水時間によって変わります。

#### <減圧潜水>

無減圧限界時間を超えて行った潜水のことです。減圧潜水は、体内に許容以上の窒素が蓄積される為、大変危険を伴います。このような潜水は絶対に行わないでください。

#### <減圧停止>

万一、減圧潜水を行った場合に必ず必要な減圧の為の停止のことで、浮上の際に決められた深度(減圧停止指示深度)で決められた時間(減圧停止指示時間)の減圧停止をする必要があります。

#### <安全停止>

無減圧限界時間を超えていない場合でも、体内窒素の排出を促す為に行う安全のための浮上の際の一時停止のことです。

水深9mよりも深い深度への潜水を行った場合には、安全のため、水深5mの位置で必ず安全停止を行うようにしてください。

#### <潜水年月日>

ダイビングを行った日付(年、月、日)です。

#### <高所潜水と高所設定>

高所潜水とは、海拔300m以上の高所(湖、池、川など)で行う潜水のことです。  
淡水中では海水基準(比重1,025)での水深を表示します。

#### 注意

1. この時計には減圧潜水、無減圧潜水を表示する機能はありません。
2. 減圧停止、安全停止に関しては、ダイブテーブルに従って安全停止を行ってください。

## 2. 水深計測について

水深計測は毎秒行われ、潜水中は常に現在深度を0.1m単位で表示します。

- ・計測範囲：1.0m～100m

\* 水深1.0mより浅い深度では0.0mを表示し、水深100mを超えると、「Over M」を表示します。

\* 水深計測値に異常があった場合は、ダイバーマークに換えて「■」エラーマークを表示します。

### <最大深度>

1回のダイビングにおいて最も深く潜ったときの深度です。

## 3. 潜水時間計測について

1.0mよりも深い深度で行われた潜水の経過時間を表示します。

### <潜水時間>

1回のダイビングにおいて水深1.0mよりも深い深度にいた合計時間です。

・最初に水深1.0mより深い深度になったときに自動的に潜水時間計測がスタートし、再び水深1.0mより浅い深度になると潜水時間計測はストップします。

ただし、潜水時間計測がストップしてから再び10分以内に水深1.0mより深い深度になると、潜水時間はストップ時点から継続されます。

・潜水時間は、計測開始から99分59秒までは分、秒単位で表示し、以降は分単位で表示します。

- ・計測範囲：0分00秒～999分59秒

\* 999分59秒を超えた場合は、計測を中止し、「-- --」表示になります。

### <潜水開始時刻>

潜水をはじめて、最初に水深1.0mより深い深度になった時刻です。

### <水面休憩時間>

ダイビング終了時からの経過時間(水面休憩時間)のことです。この時計は、サーフェースモードで最大24時間まで計測します。

## 4. 水温計測について

水中での水温が測定できますが、それ以外は測定できません。

水深が1.0mより深い深度になると、水温計測を開始し潜水中は更新された最新の水温を1°C単位で表示します。

- ・計測範囲：-9.9°C～+40.0°C

\* 計測範囲を超えた場合は、「--°C」を表示します。

### <最低水温>

1回のダイビングにおける最低の水温です。

## 5. ログデータの記録について

記録できるログデータは、最大20本までです。20本を超えて潜水を行なった場合は、最も古いログデータが消え、新しいデータが記録されます。

### <1回(1本)のダイビング>

ダイビングモード準備状態から最初に水深1mに潜水(潜水開始)してから、ダイビングモードを終了するまでを1回のダイビングとします。

## 6. 潜水モードの終了

- ・潜水終了後の0.0m表示で、(D)ボタンを2秒以上押して離すと、サーフェースモードに戻ります。
- ・潜水終了後の0.0m表示で約10分経過すると、自動的にサーフェースモードに戻ります。

## ||各種警告機能について

この時計は、ダイビングに伴う危険やトラブルをできるだけ回避するために、各種の警告機能を搭載しています。

### ⚠ 警告

警告機能が作動するような潜水はしないでください。

経験や体調、潜水状況によって危険の度合いは異なります。警告が出ないからといって必ずしも安全という訳ではありません。

各種の警告機能はあくまでも目安としてご使用ください。

### ⚠ 注意

潜水中に警告アラームが鳴った場合は、まずは安全の為に9m／分以内の浮上速度で浅い深度へ浮上を開始してください。

潜水中は、より深い深度になるほど危険を伴う為、複数の警告が重なり連続して複数の警告アラームが鳴る場合があります。

## 1. 主な警告の種類と警告機能が作動する場面

この時計が搭載している主な警告機能と作動する場面。

警告の種類	警告機能が作動する場面	
	陸上で 使用中	潜水中
デジタル表示不良	●	●
水感知センサー エラー	●	
圧力センサー不良	●	●
異常測定値 (0m／検出値)	●	●
潜水ログメモリーエラー	●	
充電警告	●	●
深度測定範囲外警告		●
浮上速度警告		●
潜水深度警告 (お客様が設定します)		●
潜水時間警告 (お客様が設定します)		●

## 2. 各警告機能の説明

### 〈デジタル表示不良〉

強い衝撃等で、デジタル表示部の導通不良が発生すると、

①警告中は、以下のように機能が制限されます。

- ・時刻修正やアラーム等の設定ができません。

②警告中の針の動き。

- ・秒針：4秒毎に運針します。
- ・時針、分針：時刻を刻み続けます。
- ・機能針：充電量を表示します。

〈デジタル表示不良〉



## 「潜水中にデジタル表示不良」が発生した場合は

①警告中は、以下のように機能が制限されます。

- ・深度計測や潜水時間等の計測値は更新されず、デジタル表示部の使用ができません。

②警告中の針の動き。

- ・秒針：4秒毎に運針します。
- ・時針：3時位置で待機します。
- ・分針：潜水時間を表示します。
- ・機能針：深度を表示します。

時計の使用をやめ、浮上速度9m／分以内の浮上速度を守って浮上を開始してください。浮上の際は減圧停止指示に従って必ず減圧停止を行ってください。浮上後速やかに、最寄りの弊社お問い合わせ窓口に修理・点検をご依頼ください。



## 〈水感知センサーエラー〉

潜水準備1または2状態のまま、水感知センサーの「ON」状態が60分間以上継続した場合、「水感知センサーエラー」となり、警告マークが表示されます。

- ・水感知センサーエラーが検出されると、潜水準備1または2表示から、時刻カレンダーモードに戻ります。

## 〈圧力センサー不良〉

強い衝撃等でセンサーが断線した場合や、センサーカバーの内側にゴミや石、水分が溜まつたままになりセンサー不良が発生すると、デジタル表示部に「■」エラーマークを表示します。

- ・エラーマーク表示中は、潜水モードに切り替わりません。

## 「潜水中に圧力センサー不良」が発生した場合は

深度計測、水温等の測定ができません。データの更新も行ないません。また各種警告音も鳴りません。

- ・デジタル表示部：「■」エラーマークを表示します。

水深表示は「---M」

水温表示は「--°C」

## 〈水感知センサーエラー〉



警告マーク

## 〈潜水中の圧力センサー不良〉



警告マーク

### 〈異常測定値(0m／検出値)〉

初期0m／検出とは：水深の基準となる値で、陸上で5分毎に大気圧を検出します。その時に測定した値を0m基準値として記憶します。

- ・初期0m計測値は、その都度更新されますが、規定値を超えた場合、異常値とみなし基準値を更新しません。
- ・異常値を検出した場合、水感知センサーの異常とみなし、時刻カレンダーモードで「■」エラーマークを表示します。
- ・エラーマーク表示中は、水感知センサーが水を感じても、潜水モードに切り替わらないため、潜水には使用できません。

### 【異常測定値の解除】

- ・異常値検出後、正しい値が検出されると、解除されます。
- ・異常測定値が解除されるとエラーマークが消え、水感知センサーが働き始めます。

### 〈潜水ログメモリーエラー〉

- ・潜水ログデータの書き込みが規定回数に近付くと、「LOG\*\*.ERROR」を表示します。規定回数に達すると、「■」エラーマークが表示され、ログデータが記録されません。
- ・「■」エラーマークが表示すると、潜水モードに切り替わりません。  
速やかに最寄りの弊社お問い合わせ窓口に修理依頼をしてください。

### 〈充電警告〉

常に「レベル5」を維持するように充電を心掛けてください。

### 「潜水中に充電不足表示になった場合は」

デジタル表示部に、電池不足マークが表示されます。

- 以下のように機能が制限されます。
  - ・ELライトが点灯しません。
  - ・このまま潜水を続け、「充電レベル0」になると、水深計測が停止しログデータも記録されません。

〈潜水中の  
充電不足表示〉



充電不足マーク

### 「潜水中に充電警告表示になった場合は」

秒針が1秒運針から2秒毎の運針に切り替ります。  
デジタル表示部には、「Charge」が表示されます。  
充電警告中は、以下のように機能が制限されます。

- ・水深計測が停止します。
- ・ログデータも記録されません。
- ・全ての警告音が鳴りません。
- ・LEDの点滅及び、ELライトが点灯しません。

・潜水中にこの状態になった場合は、速やかに安全な浮上速度で浮上を開始してください。



充電警告マーク

### 〈異常深度測定値〉

1秒間に±4mの差が生じた場合に異常深度とみなし  
「■」エラーマークを表示します。

- ・異常深度検出のエラーマークは、水深計測が終了すると解除されます。

### 〈深度測定範囲外警告〉

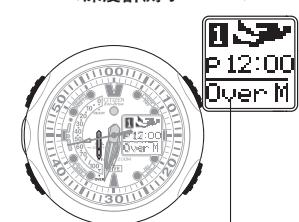
現在深度が100mを超えた場合、深度計測オーバーとし、「Over M」を表示します。

- ・機能針は“OVER”的位置に移動します。

### 【深度計測範囲外警告の解除】

- ・測定範囲内に戻れば、深度計測範囲外警告が解除され、深度計測表示に戻ります。
- ・測定範囲内に戻っても、機能針は“OVER”を指したままです。

### 〈深度計測オーバー〉



オーバー表示

### 〈浮上速度警告〉

浮上速度が9m／分以上を超えた場合に発する警告です。

浮上速度警告が働くと、アラーム音が鳴ります。同時にLEDが点滅し、デジタル表示部に「SLOW」が表示されます。

#### 【浮上速度警告の解除】

- ・浮上警告速度以下になると解除され、浮上速度アラームも鳴り止みます。

### 〈潜水深度警告〉

設定した深度を超えると、警告が働き15秒間深度アラーム音が鳴り、同時にLEDが点滅します。

設定した深度を超えたままだと、1分後再度深度アラーム音が鳴りLEDが点滅します。

- ・潜水深度警告アラームが鳴っている時に、(A)～(D)のいずれかのボタンを押すと、アラーム音が止まります。

#### 【異常深度警告の解除】

- ・設定深度よりも浅い所に戻ると、警告が解除されます。  
できるだけ早く、安全な浮上速度で浅い所へ浮上してください。

### 〈浮上速度警告表示〉



浮上速度警告

### 〈潜水時間警告〉

設定した潜水時間を超えると、警告が働き15秒間潜水時間アラーム音が鳴り、同時にLEDが点滅します。

- ・潜水時間警告は1回のみ作動します。
- ・潜水時間アラームが鳴っている時に、(A)～(D)のいずれかのボタンを押すと、アラーム音が止まります。

## II 潜水モードの使い方

このモードは、ダイビング中の水深計測を行うモードです。

- ・潜水警告設定モードで「警告深度」と「警告潜水時間」が設定できます。ダイビングの計画に沿って正しく入力してください。
- ・水感知センサーが水を感知すると、自動的に潜水モードに切り替わります。

### 1. 潜水警告設定モードの使い方

・**警告深度**：設定した深度になると、アラームが鳴り、LEDが点滅します。

　　水深値の設定範囲は、1m単位で、5m～99mまで設定できます。

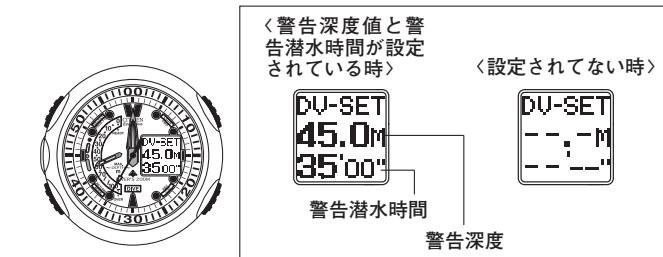
・**警告潜水時間**：設定した潜水時間になると、アラームが鳴りLEDが点滅します。

　　潜水時間は、1分単位で、5分～99分まで設定できます。

#### A. 潜水警告設定モードの通常表示状態

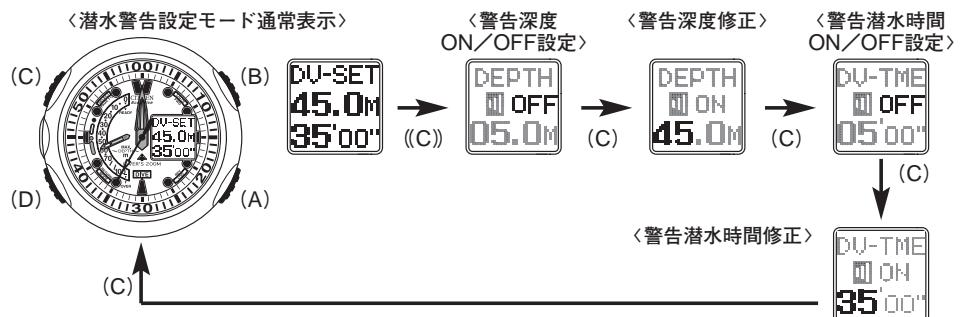
潜水警告設定モードにすると、表示が次のように切り替わります。

- ・**デジタル部**：
  - ・前回の設定値(警告深度および、警告潜水時間)を表示。
  - ・設定されてない時は、「- -」を表示。
- ・**針**：
  - ・時針、分針・・・12時に移動し停止します。
  - ・秒針・・・1秒運針を続けます。
  - ・機能針・・・充電量を表示します。



## B. 潜水警告のセット方法

- (1) 潜水警告設定モードで(C)ボタンを約2秒押すと、デジタル部の「ONまたはOFF」が点滅し修正状態になります。
- (2) (C)ボタンを押す毎に、次のように点滅箇所が切り替わります。



((C)) : (C)ボタンを約2秒押す (C) : (C)ボタンを1回押す

- (3) 警告深度と警告潜水時間の「ONとOFF」切り替えは、(A)ボタンまたは(B)ボタンを押して切り替えます。

- (4) 警告深度と警告潜水時間は(B)ボタンまたは(A)ボタンを押して修正します。

- ・(B)ボタンを押す毎に、表示を1つずつ送ります。
- ・(A)ボタンを押す毎に、表示を1つずつ戻します。
- ・ボタンを押し続けると表示を連続で修正できます。

- (5) 各修正状態(点滅表示)で(D)ボタンを押すと、潜水警告の通常表示に戻ります。

- ・潜水警告設定モードの修正状態(点滅表示)で約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に潜水警告設定の通常表示に戻ります。
- ・潜水警告設定モードの通常表示で約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻カレンダーモードに戻ります。

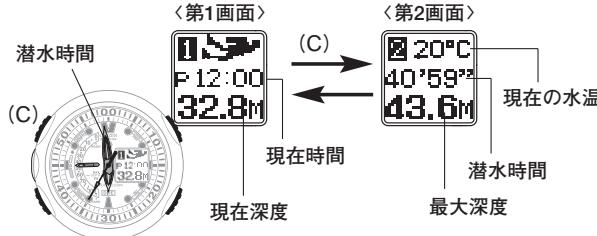
## 2. 潜水モードへの切り替え

- ・水感知センサーが水を感知すると、自動的に潜水モード「潜水準備1」に切り替わります。  
ボタン操作では潜水モードには切り替わりません。

### 【潜水モードに切り替わると】

- ・「潜水準備1」で、50cmよりも深い深度になると「潜水準備2」に替わります。
- ・「潜水準備1」または「潜水準備2」で、1mよりも深い深度になると、自動的に水深計測を開始します。
- ・水深計測中は、現在深度、潜水時間、最大深度などの情報を表示します。

〈表示するデータ〉  
深度計測中に(C)ボタンを押している間、第2画面を表示します。



### 〈ログデータを記憶する条件〉

- ・1mより深い深度が、3分以上継続した時または、8mよりも深い深度を1分以上継続した場合にログ番号と、ログデータを記憶します。

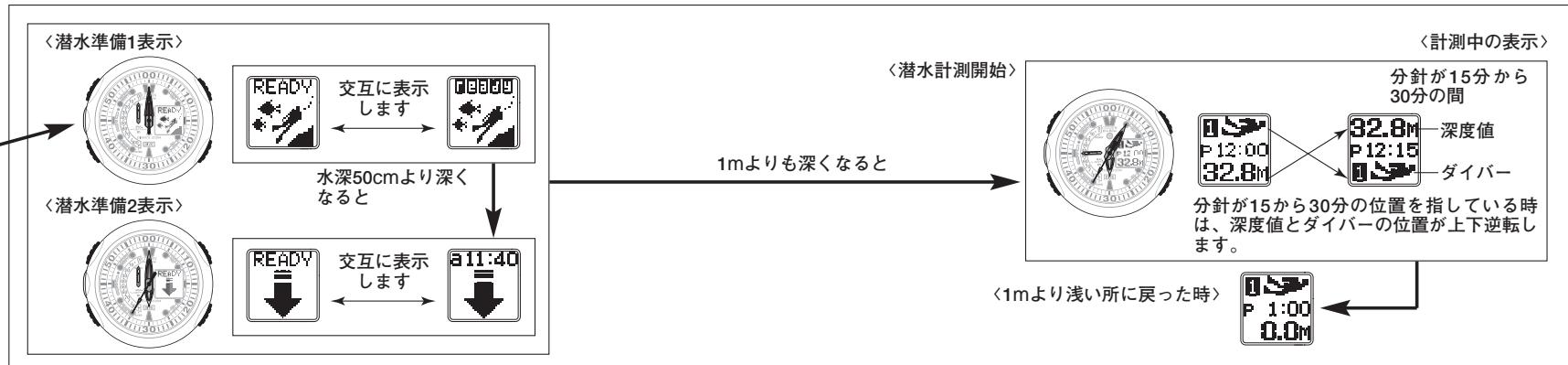
### 〈記憶するログデータ〉

- ・潜水開始月日
- ・時刻カレンダーモードの時刻と都市名
- ・潜水開始時刻(1m以深を計測した時点の時刻)
- ・最大深度
- ・最低水温
- ・潜水時間

【潜水の状態で次のように表示  
が切り替わります】



水感知センサーが  
水を感知すると



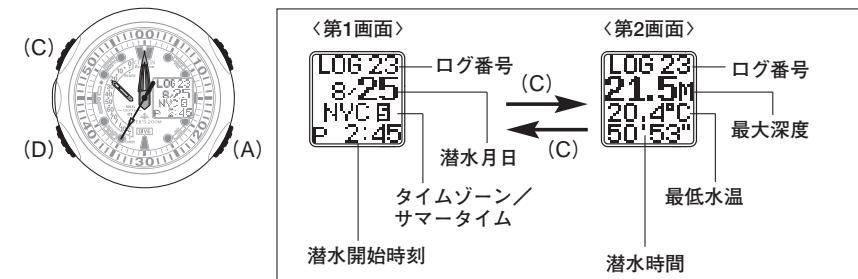
## ⚠ 警告

- ・ダイビングを開始する前に、必ず時計の全ての機能が正しく作動するか確認してください。
- ・機能針が「充電レベル5」を指しているか確認してください。
- ・画面に警告表示が出でないかを必ず確認してください。
- ・時刻カレンダーモードで「Charge：充電警告」や「図：エラーマーク」等の各種警告機能が作動中は潜水モードに切り替わりません。
- ・減圧停止が必要なダイビング（減圧潜水）は絶対に行わないでください。  
万一、減圧潜水になった場合には、浮上速度9m／分以内の浮上速度を守って、速やかに浮上を開始してください。浮上の際はダイブテーブルに従い減圧停止を行ってください。この時計には、減圧潜水になったことをお知らせする機能は組み込まれていません。他の機器を併用しそれらで確認してください。
- ・減圧停止の際は、ダイブテーブルに従い指示深度より浅いところへは絶対に浮上しないでください。

## || 潜水ログ呼び出しモードの使い方

- ・潜水モードにおいて、自動的に記録したログデータを表示します。
- ・記録できるログデータは、20本分です。
- ・20本分のログデータが記録された後、新たにダイビングを行うと、最も古いログデータが自動的に消去されます。
- ・1本のログデータを第1画面と第2画面に分けて表示します。

(C)ボタンを押すと、画面が切り替わります。



#### A. ログデータの表示範囲

- ・ログ番号：「01」～「99」、「00」、「01」、「02」……。
- ・ログデータ：最大20本。
- ・最大深度：100m(最大深度を超えた場合は、「Over M」を表示します。)
- ・最低水温：−9.9°C～+40°C  
表示範囲を超えた場合は、「--°C」を表示します。
- ・潜水時間：分、秒単位で表示します。  
99分59秒迄は、分、秒を表示し、それ以後は分を3桁表示します。  
999分を超えた場合は「--:--」を表示します。
- ・タイムゾーン／サマータイム：時刻カレンダーモードで設定していた、都市名とサマータイムのONまたはOFF。
- ・潜水開始時間：時刻カレンダーモードの時刻。
- ・潜水月日：時刻カレンダーモードの月、日。
- ・機能針：最大水深表示へ移動する。

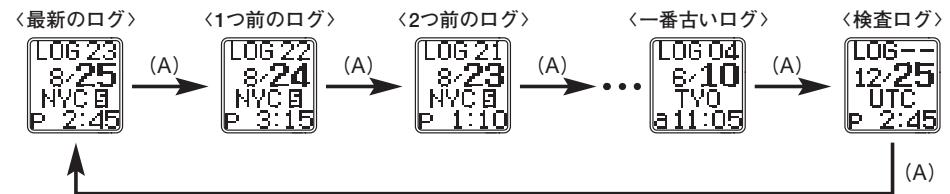
・針が移動中はボタンを押してもログ切り替えができません。

- ・ログデータ表示中、約1分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻カレンダーモードに戻ります。
- ・ログデータ表示中、(D)ボタンを押すと「基準位置修正モード」に切り替わります。

#### B. ログデータの呼び出し方

- (1) 潜水ログ呼び出しモードにすると、最新のログデータが表示されます。
- (2) (A)ボタンを押して、ログデータを選択します。
  - ・ログデータが1つも記録されていない場合は、「LOG--」と表示されます。
  - ・一番古いログの後には、検査ログが表示されます。  
検査ログは、この時計を出荷する前に、工場にて厳密な出荷検査を行った大切なログデータです。
  - このログデータは「ログデータの消去」を行っても消す事はできません。
- (3) (C)ボタンを押すと、ログデータの画面が切り替わります。

#### 【ログの順番】



### C. ログ番号について

- ・ログ番号は、2桁で表示され「01」～「99」まで記録されます。「99」の次は「00」、「01」、「02」……と記録していきます。
- ・「01」～「20」本分のログデータが記録された後、新たなダイビングが行われると、最も古いログデータ「01」が自動的に消去され、新たなダイビングのログ番号は「21」となりログデータが記録されます。

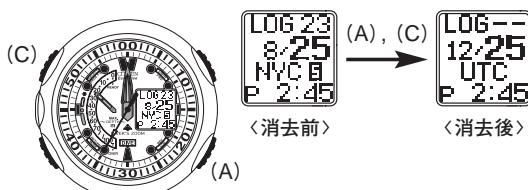
### D. ログデータの消去方法

#### ⚠ 注意

- ・大切なログデータは消去前にログブック等に記載した後、消去してください。  
消去を行うと、一度の操作で全てのログデータが消去されます。
- ・サーフェスマードが作動中は、消去しないでください。

#### 【消去方法】

- (1) 潜水ログ呼び出しモードにします。
- (2) (A)ボタンと(C)ボタンを同時に約2秒以上押します。  
・検査ログを除く全てのログデータが削除されます。



### E. ログデータに関して

#### ⚠ 注意

- ・20本分のログデータが記録された後、新たなダイビングが行われると、最も古いログデータが自動的に消去されます。  
大切なログデータは早めにログブック等に記載してください。
- ・修理や点検時、また稀に時計の故障などで、データが消えてしまう可能性があります。ダイビングをした後は、早めにログブック等に記載しておくことをおすすめします。
- ・ログデータの消去を行なっても、検査ログは残ります。  
検査ログは、出荷前に検査を行った大切なログデータです。「ログデータの消去」を行っても消す事はできません。
- ・万一、故障等によってログデータが消えてしまった場合でも、弊社は責任を負いかねます。  
あらかじめご了承ください。

## 基準位置確認モード

時計が正しく機能するため、機能針を含め全ての針が正しい位置にあるか確認するモードです。

・外部からの強い衝撃や、磁気などの環境におかれた場合、基準となる針の位置がずれることがあります。ずれた状態で使用すると、時刻表示や、潜水モード等が正しく機能しません。

このような場合は、「基準位置確認」を行ない、正しく修正してください。

### A. 基準位置確認方法

(1)「基準位置確認」モードにします。

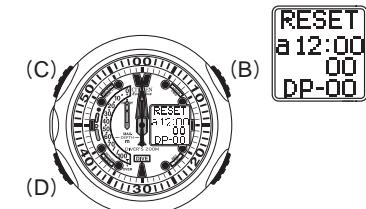
- ・秒針、分針、時針が基準となる位置(12時00分00秒)に移動します。
- ・機能針が深度目盛りの“0”(READY)位置に移動します。

(2)各針が正しい位置を示した場合は修正の必要はありません。

- (D)ボタンを押して前回の使用モードに戻してご使用ください。
- ・基準位置にこない場合は、次の修正方法を参照し、正しい位置に修正してください。

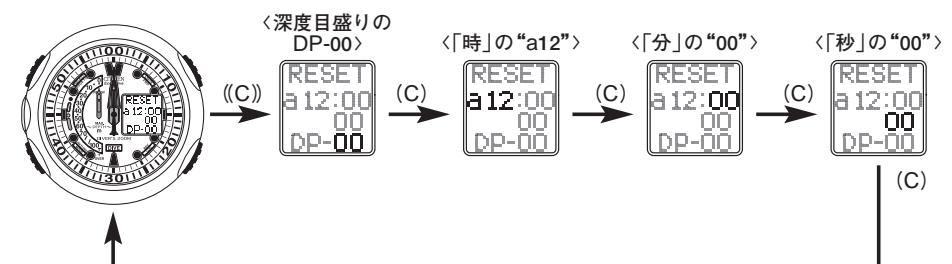
### 【各針の基準位置とデジタル表示】

- ・秒針、分針、時針：12時00分00秒
- ・機能針 : 深度目盛りの“0”
- ・デジタル表示 : RESET  
a 12:00  
00  
DP-00



### 【各針の基準位置修正方法】

- (1)「基準位置確認」モードにします。
- (2) (C) ボタンを約2秒以上押します。
  - ・デジタル表示部、「DP-00」の“00”が点滅します。
  - ・(B) ボタンを押すと、機能針が動きます。機能針が深度目盛りの“0”を指すまで数回押してください。(B) ボタンは押し続けると針が連続で動きます。
- (3) (C) ボタンを押します。
  - ・ボタンを押すごとに次のように修正箇所が切り替わります。
  - ・(B) ボタンを押し、各針を12時に合わせます。



((C)) : (C) ボタンを約2秒押す。  
(C) : (C) ボタンを1回押す。

(4) 各針の基準位置を合わせたら、(D) ボタンを押して前回の使用モードに戻してください。

## ||このような場合には

現象	考えられる原因	対処方法	参照項目
潜水モードに切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充電不足により、充電警告機能が作動「Charge」：充電警告マークが表示する」している。(充電不足の状態ではダイビングモードに切り替わりません)</li> <li>・水感知センサー濡れ検出エラー「図」等のエラーマークが表示されていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光を当ててレベル5になるまで充電してください。</li> <li>・水感知センサーが濡れたままになっていないか、圧力センサー回りに石やゴミがつまっているか確認してください。</li> </ul>	<p>■充電量表示と持続時間について</p> <p>■各種警告機能について</p>
ダイビングを行ってもログデータが記録されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイビング中に充電不足になった。</li> <li>充電不足の「図」マークが表示していませんか？</li> <li>・ログメモリーの書き込みが書き込み回数に達してしまった？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早く、安全な浮上速度で浮上し、レベル5になるまで充電してください。</li> <li>・最寄りの弊社お問い合わせ窓口に点検をご依頼ください。</li> </ul>	<p>■各種警告機能について</p>

現象	考えられる原因	対処方法	参照項目
実際の潜水通りにログデータが正しく記録されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潜水時に何らかの原因でダイビングモードに切り替わらなかった。</li> <li>・潜水中に充電不足(レベル0)になると、ログデータの記録を中止します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水感知センサーが濡れたままになっていないか、圧力センサー回りに石やゴミがつまっているか確認してください。</li> <li>・ダイビング前には必ずレベル5になるまで十分に充電を行ってください。</li> </ul>	<p>■各種警告機能について</p> <p>■充電量表示と持続時間について</p>
長時間「図」マークが消えない	・圧力センサーに砂やゴミ、汗などの汚れが付着している為に、圧力センサーが作動し続けています。	・圧力センサーの周辺の汚れを水で洗い流した後、乾いた布で水分を良く拭き取ってください。	<p>■各種警告機能について</p>
潜水モードを終了できない	・水感知センサーに水や汗が付着したまま、センサーが働き続け解除できない。	・水感知センサーの周辺を水で洗い流した後、乾いた布で水分を良く拭き取ってください。	<p>■各種警告機能について</p>

現象	考えられる原因	対処方法	参照項目
秒針が2秒毎に動く	・充電不足で二次電池の容量が少なくなり、充電警告機能(「Charge」マークが表示)が作動している。	・太陽の光等を当てて、充電レベル5になるまで充電してください。	■充電量表示と持続時間について
アラームが鳴らない	・充電不足により、充電警告機能(「Charge」充電警告マークが表示)が作動している。 ・アラームの設定が“OFF”になっていますか？	・太陽の光等を当てて、充電レベル5になるまで充電してください。 ・アラームの設定を“ON”にし、時刻や都市名を確認してください。	■充電量表示と持続時間について ■標準モードの使い方について 4. アラームモードの使い方
ELライトが点灯しない	・充電不足により、充電警告機能(「Charge」充電警告マークが表示)が作動している。 ・充電量がレベル2～0ではELライトは点灯しません。	・太陽の光等を当てて、充電レベル5になるまで充電してください。	■充電量表示と持続時間について ■ELライトの点灯方法について

現象	考えられる原因	対処方法	参照項目
モードが切り替わらない	・(D)ボタンの間にゴミや汚れがつまっていますか？	・ゴミや汚れがつまって、ボタンが押せない時は最寄りの弊社お問い合わせ窓口に修理点検をご依頼ください。	■標準モードの使い方について ■お取り扱いに当ってのご注意 ・この時計の修理について
時計が異常な表示や動作をする(デジタル表示が狂う、アラームが鳴り続けるなど)	・誤って強い衝撃や強い静电気が時計に加わると、まれに異常な表示や動作をすることがあります。	・オールリセットを行ってください。 それでも問題が解決されない場合は、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。	■オールリセットについて ■お取り扱いに当ってのご注意 ・この時計の修理について
デジタル表示画面の文字や数字の切り替えが遅い	・周囲の温度が低い環境下では文字や数字等の表示書き換えが遅くなります。	・常温に戻ると表示が正常に戻ります。	■製品仕様 時計作動温度範囲

# ■主なモードマークとデジタル表示の見方

## 【モードマーク】



サマータイム

時刻カレンダーや、トラベルタイムモードで、表示都市のサマータイムが設定されている場合に表示します。



サーフェース

サーフェースモード作動中（潜水後からの経過時間を計測）に表示します。



アラームモード

- : アラーム1モードを表示
- : アラーム2モードを表示
- : アラーム3モードを表示



セットマーク

時刻カレンダーモードで、修正モードに移行すると表示されます。



エラーマーク

水感知センサーの濡れ検出エラーや、圧力センサーの断線、0m検出エラー等が生じた時、時刻カレンダーモードで表示します。

ON  
OFF

ON／OFFマーク

アラームモードのセットや、潜水警告設定モードで警告深度値、警告潜水時間の設定時にONまたはOFFを表示します。

1  
2

画面番号

サーフェースモードや、深度計測中等で画面1または画面2を表示します。



ダイバーマーク

潜水モードで深度計測中、第1画面表示中に表示します。

DW-SET

潜水警告設定モード

潜水警告設定モードに切り替えると、設定した警告深度値、警告潜水時間と共に表示します。

DEPTH

警告深度修正状態

潜水警告設定モードで、警告深度値修正状態にすると表示します。

DW-TME

警告潜水時間修正状態

潜水警告設定モードで、警告潜水時間値修正状態にすると表示します。

SLOW

浮上速度アラーム

深度計測中に、浮上速度が浮上警告速度以上になると表示します。

Charge

レベル0

二次電池の充電量がレベル0になると表示します。

Charge

レベル1

深度計測中に、二次電池の充電量がレベル1になるとダイバーマークに替わって表示します。

## 【デジタル表示】



- 時刻カレンダーモードの時  
都市名、サマーセットON/OFF、月、日、曜日を表示します。



- 時刻カレンダーモードで  
都市名、サマーセットON、月、日、曜日を表示し、サーフェース計測中を表しています。



- 時刻カレンダーモードで  
水感知センサーの濡れ検出エラーが生じた事を表しています。



- 時刻カレンダーモードで  
修正状態に入ったことを表しています。修正箇所が替わるとSET横の番号や点滅箇所が替わります。



- サーフェース作動中  
潜水後からの経過時間や、潜水時の最大深度、潜水時間等を表示します。



- トラベルタイムモードの時  
都市名、サマーセットON/OFF、時刻、月、日を表示します。



- アラーム1、2または、3モードの時  
アラームセット都市名、セット時間、サマータイムおよびアラームのON/OFFを表示します。



- 潜水警告設定モードの時  
設定した警告深度値、警告潜水時間を表示します。



- 潜水警告設定モードで  
警告深度値を設定します。



- 潜水警告設定モードで  
警告潜水時間を設定します。



- 潜水ログ呼び出しモードの時  
ログ番号に対応した最大深度、最低水温、潜水時間等を表示します。



- 潜水ログ呼び出しモードの時  
ログ番号を呼び出すと最後に検査ログが表示されます。



- 水感知センサーが水を感知すると  
自動的に潜水モード(潜水準備1)に移行しREADYとreadyを交互に表示します。



- 潜水準備1から潜水準備2に切り替わると、  
READYと現在時間を交互に表示します。



- 潜水準備1または潜水準備2から深度計測状態になると、  
第1画面にダイバーマークが現れ、現在時間と現在深度を表示し、第2画面で潜水時間、最大深度水温を表示します。



- 深度計測中に浮上警告速度以上で浮上すると、  
アラームが鳴り、LEDが点滅し、デジタル表示部にSLOWを表示します。



- 計測した深度が1秒前の深度と比較して  
±4.0mを超えた場合、異常深度とみなし異常深度マークを表示します。



- 二次電池の容量がなくなり、レベル0を検出すると電池マークとChargeを表示します。  
深度計測中にレベル0を検出すると同じように表示します。



- 深度計測中に二次電池の容量が少なくなり、レベル1を検出すると  
電池マークとChargeを表示します。



- 4つのボタンを同時に押すと、  
全ての表示をクリアした後、ALL RESETを表示します。



- 基準位置確認モードにすると、  
基準位置(時、分、秒、深度)を表示します。

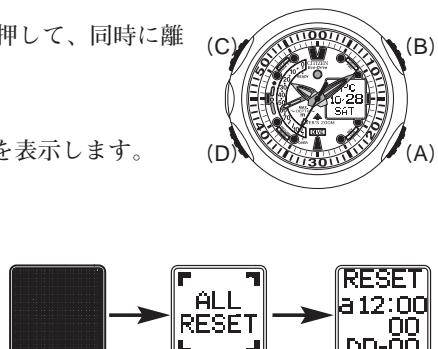


- ログデータの書き込みが規定回数に近付くと、  
「LOG\*\*ERROR」を表示します。

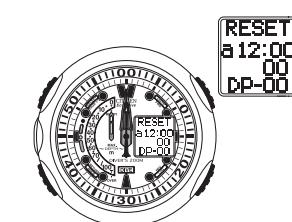
## ||オールリセットについて

オールリセットを行うと、時刻やカレンダーをはじめ、時計の全ての設定が初期状態に戻ります。ただし、ログデータは消えずに残ります。  
時計が異常な表示や動作をした時は、オールリセットを行ってください。

### 【操作方法】

- (1) (A)、(B)、(C)、(D)の4つのボタンを同時に押して、同時に離します。  
・時計が次のような動作をします。  
①アラーム音が鳴ります。  
②デジタルの表示が切り替わり「ALL RESET」を表示します。  
③秒針、分針、時針の順に各針が1回転します。  
④機能針が“0”位置に移動します。  
⑤ELライトが点灯します。  
⑥LED照明が点灯します。  
⑦アラーム音が鳴ります。  
⑧デジタル表示がイラストのような「RESET」表示に切り替わります。
- 
- (C)  
(B)  
(D)  
(A)
- ALL  
RESET
- RESET  
a 12:00  
00  
DP-00

### (2) 各針の基準位置を合わせてください。

- ①(C)ボタンを約2秒押します。  
・デジタル表示、「DP-00」の、“00”が点滅します。  
・(B)ボタンを押すと、機能針が動きります。機能針が深度目盛りの“0”(READY)を指すまで数回押してください。  
②(C)ボタンを押します。  
・デジタル表示の「時」、「a 12」が点滅します。  
・(B)ボタンを押し、時針を12時に合わせます。  
・(B)ボタンは押し続けると針が連続で動きます。  
③(C)ボタンを押します。  
・デジタル表示の「分」、「00」が点滅します。  
・(B)ボタンを押し、分針を12時に合わせます。  
・(B)ボタンは押し続けると針が連続で動きます。  
④(C)ボタンを押します。  
・デジタル表示の「秒」、「00」が点滅します。  
・(B)ボタンを押し、秒針を12時に合わせます。  
・(B)ボタンは押し続けると針が連続で動きます。  
⑤(C)ボタンを押します。  
・これで各針の基準位置合わせが終わりました。
- 

時刻やカレンダーをはじめ、各モードを正しく合わせ直してください。

## ■ELライトの点灯方法

- ・(B)ボタンを押すとELライトが約2秒点灯します。



(B)

〈次の場合は、ELライトは点灯しません〉

- ・「レベル2～0」の充電量が少ない時。  
レベル2の時(B)ボタンを押すと、アラーム音が鳴り「ELライトが点灯しない」とことをお知らせいたします。
- ・次のモードへ移行中や各モードの修正状態の時。
- ・低温(目安:0°C以下)の時。
- ・ELライトが消えた後、約2秒間は(B)ボタンを押しても点灯しません。

## ■お取り扱いに当たってのご注意

### ⚠ 警告 防水性能について

この時計は200m防水時計です。空気ボンベを使用した空気潜水(スクuba潜水)には使用できますが、ヘリウムガスを使用する飽和潜水などには使用できません。

使用例					
表示	水がかかる程度の使用(洗顔、雨など)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスクuba潜水に使用。	ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。
AIR DIVER'S 200m	OK	OK	OK	OK	NO

## ⚠ 警告

- この時計に使用されているパッキンは消耗品であり、長期間のご使用により劣化いたします。パッキンが劣化すると、防水性能を維持できなくなり、時計内部に水が入り、時計の機能異常や止まりの原因となる場合があります。
- 2~3年毎に弊社にて定期点検(有償サービス)をお受けになり、必要に応じてパッキン、ガラス等の交換を行なってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、ボタンなど)が外れる危険があります。

## ⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を外さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かないところにおいてください。
- 誤って二次電池を飲み込んだ場合には医師と相談して治療を受けてください。

## ⚠ 警告 指定の二次電池以外は使用しないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。他の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損及び人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

## ⚠ 警告 この時計の修理について

この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。修理、点検の際は最寄りの弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

## ⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じことがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

### <時計のお手入れ方法>

- ・ケース、ガラスの汚れ、汗、水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- ・金属バンド、プラスチックバンド、ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまつたゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いて下さい。
- ・溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

### 注意 携帯時の注意

- ・幼児を抱くときは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業を行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

### 注意 バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

### <温度について>

0°C～+55°Cの温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。またこの温度範囲外では液晶表示が見にくくなることがあります、常温に戻ると元の表示に戻ります。

### <静電気について>

クオーツウォッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っていますので、テレビ画面などの強い静電気を受けると、表示がずれることがありますのでご注意ください。

### <ショックについて>

床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

### <化学薬品・ガス・水銀について>

化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

### <保管について>

- ・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- ・時計を長期間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめいたします。

## ||保証とアフターサービスについて

### 1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

### 2. 修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

### 3. 修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

### 4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

### 5. 定期点検（有償）について

安全に永くご使用いただくために、1~2年に一度、点検（有償）を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

### 6. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。この時計はバンドを除く全てのアフターサービスは「メーカー修理」となります。弊社以外でのアフターサービスに関しては一切責任を負いかねます。

## ||製品仕様

- 機種：U10\*
- 水晶振動数：32,768Hz
- 時計作動温度範囲：0°C～+55°C
- 時間精度：平均月差±15秒（常温+5°C～+35°C携帯時）
- 水深計精度：・0m～100m：±（表示値の1%+0.3m）以内  
　　・精度保証温度範囲：0°C～+40°C（水深範囲 0m～100m）  
　　・使用可能高度範囲：300m～3,000m（海拔）
- 水深計測範囲：1.0m～100.0m
- 水温計測精度：表示値±2°C
- 水温測定範囲：-9.9°C～+40°C
- 保有モードと主な表示機能：
  - ◆標準モード：
    - ・時刻：・針・・・時針、分針、秒針、機能針（充電量／最大深度計測）  
　　・デジタル・・・都市名、月、日、曜、年（修正時のみ）、サマータイム
    - ・サーフェース時間計測（有効潜水終了後のサーフェース時間を計測表示）：  
　　・時、分（24時間まで）、前回の潜水時間、前回の最大深度

- ・トライベルタイム：
  - ・針・・・時計カレンダーモードの時刻
  - ・デジタル・・・都市名、時、分、月、日、サマータイム
- ・アラーム1：
  - ・針・・・時計カレンダーモードの時刻（時、分）
  - ・デジタル・・・都市名、時、分、ON/OFF、サマータイム
  - ・アラームモニター
- ・アラーム2：
  - ・針・・・時計カレンダーモードの時刻（時、分）
  - ・デジタル・・・都市名、時、分、ON/OFF、サマータイム
  - ・アラームモニター
- ・アラーム3：
  - ・針・・・時計カレンダーモードの時刻（時、分）
  - ・デジタル・・・都市名、時、分、ON/OFF、サマータイム
  - ・アラームモニター
- ・潜水警告設定：
  - ・警告深度アラーム（アラーム音、LED点灯）  
　　設定範囲：5m～99m  
　　設定単位：1m  
　　ON/OFF切り替え

- ・警告潜水時間アラーム（アラーム音、LED点灯）

設定範囲：5～99分

設定単位：1分単位

ON/OFF切り替え

- ・潜水ログ呼び出し：

- ・潜水ログの呼び出し可能件数：最新の20ログ

- ・ログ内容：ログ番号(01～99、00)、潜水月日、タイムゾーン、  
サマータイム、潜水開始時刻、最大深度、最低水温、潜水時間

◆水感知センサー

◆圧力センサー

◆各種警告機能

デジタル表示不良

水感知センサー濡れ検出エラー

圧力センサー不良

異常測定値(0m/検出値)

潜水ログメモリーエラー

異常深度警告

深度測定範囲外警告

設定潜水時間超過警告

浮上速度警告

異常深度表示

◆その他の付加機能：

- ・充電量表示機能

- ・充電警告機能

- ・パワーセーブ1機能

- ・パワーセーブ2機能

- ・過充電防止機能

- ・ELライト

○持続時間：フル充電後、充電しないで時計が停止するまで

- ・約6ヶ月(パワーセーブが作動しない時)

- ・約2.5年(パワーセーブ2が作動している時)

- ・2秒運針～時計が停止するまで・・・約2日

\*ダイビングや、アラーム等の使用頻度によって、持続時間が異なってきます。

○使用電池：二次電池 1個

\*製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

本書及び本書に記載された製品の使用によって発生した損害、遺失利益、または第三者からのいかなる請求も、弊社は一切その責任を負いません。